認められる者)



鋼製橋脚の定着深さを低減できる平面格子形鋼を埋設した 合成構造フーチングの開発

Development of a Hybrid Structure Footing Embedded with Plane Grid Steel Frame Capable of Reducing the Anchoring Depth of a Steel Pier

伊原茂(首都高速道路(株))、中野博文(首都高速道路(株))、加藤敏明((株)大林組)、齋藤隆((株)大林組)、斉藤成彦(山梨大学) Shigeru Ihara (Metropolitan Expressway Company Limited), Hirofumi Nakano (Metropolitan Expressway Company Limited), Toshiaki Kato(Obayashi Corporation), Takashi Saito (Obayashi Corporation), Shigehiko Saito (University of Yamanashi)

概要

都市高速道路高架橋では、鋼製橋脚とフーチングの定着構造に支圧板式アンカーフムが多く用いられているが、土被り制限や近接構きない。そこで、I形断面の平面格子形鋼をフーチングに埋設し、定着部材として活用するだけ構造なフーチングを開発して活用するでは大きまなが、は、使用、では困難と考えられていたすったが、強力でがあり、があり、なりできる。 都では、ったいるが、土被り制限や近接をさいた。の間では大きないでは、定着部材をして活用するだけ構造なフーチングを開発した。これに首都に関連を表したがあり、一般に対した。これに対しているが、土被り制限を対している。これに対している。これに対している。これに対している。これに対しているがある。これに対しているに対している。これに対しないる。これに対しているにはないる。これに対しないる。これに対しないる。これにはないるいる。これにはないる。これにはないるいる。これにはないる。これにはないる。これにはないるいる。これにはないる。これにはないるいる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないるいる。これにはないるいる。これにはないる。これにはないるいる。これにはないるにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。これにはないる。こ

Summary

The viaducts of urban expressways often employ bearing plate-type anchor frames in the fixation structure of steel pier and footing. However, these anchor frames cannot be used when there are limitations related to depth, e.g., restriction due to ground covering and the existence of adjacent structures. Therefore, a hybrid structure footing, in which plane grid I-shaped steel frame is embedded, has been newly developed. The frame performs as strength member for footing as well as anchorage for steel pier. Based on this structure, the roadway of the double-deck viaduct supported by racketshaped piers between Itabashi and Kumano-cho Junctions in Central Circular Route of the Metropolitan Expressway could be widened. This technology is highly flexible for urban severely restricting conditions and it can considerably contribute to infrastructure development that will become increasingly important in the future.